

# 第3章 第2期計画の主な取り組み状況と課題

第2期計画の主な取り組み状況と今後強化が必要な取り組みは以下のとおりです。また、第2期計画の基本施策ごとに、子育てに関する取り組みを実施または支援する団体を対象に実施したアンケート調査結果からの意見を抜粋して記載しています。

【新規】 第2期計画中に新たに取り組みを開始した事業

【拡充】 これまでの取り組みを第2期計画中に量的及び内容的に充実させた事業

【継続】 これまでの取り組みを継続して実施した事業

## 基本目標1) すべての子育て家庭を支える まちづくり

≪主な取り組み状況≫

### 基本施策1 妊娠・出産・育児の切れ目のない支援

【新規】 令和6年4月に児童福祉法改正にともない、こども家庭センター機能として、母子保健機能及び児童福祉機能の一体的な運営を通じて、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援やこどもと子育て家庭の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供する体制を整えた。

【拡充】 令和4年10月からこども医療費助成制度（通院・入院助成）を18歳に到達した年度末までに拡充した。令和5年2月から出産・子育て給付事業、令和5年度から初回産科受診費用の助成事業、令和6年度から産後ケアの対象者を生後1歳未満の赤ちゃんと保護者に変更し、多胎妊婦に対する妊婦健康診査にかかる助成額を増額するなど拡充した。

### 基本施策2 多様なニーズに応じた保育サービスの充実

【拡充】 保育の受け皿拡大により、令和3年度以降（4月1日時点）待機児童は解消した。

【拡充】 全市的な幼児期の教育・保育の質・水準の向上が図れるよう、フリー保育士等配置補助事業やアレルギー食対応補助事業、看護師等配置補助事業等を創設、推進に努めた。



### 基本施策3 人権教育及び児童虐待問題対応の充実

【新規】 令和2年度から子ども家庭総合支援拠点を設置し、子育てに対する様々な相談を受け児童虐待につながらないよう予防に努めるとともに、児童虐待についても関係機関と連携し対応した。令和6年度からこども家庭室を設置し母子保健と児童福祉の連携を強化し、妊産婦やこども、その家庭を一体的に支援する体制を整えた。

### 基本施策4 障がいのある子ども（支援の必要なこども）のライフステージに応じたきめ細やかな支援・保育・教育の推進

【継続】 発達支援の必要なこどもの療育について、関係各課が関係機関との連絡調整を図り、適切な支援につなげた。また、療育プログラム等の児童発達支援センターが行う事業の充実につなげた。

【新規】 令和3年度から児童発達支援センターを設置し、保育所等訪問支援事業と障がい児相談支援事業を実施することで療育プログラム等の事業の充実につなげた。

【新規】 令和5年度から医療的ケアが必要な児童や家族が支援を円滑に受けることができるよう、保健や医療、福祉等の調整を行う医療的ケア児等コーディネーターを配置した。

### 基本施策5 ひとり親家庭の自立支援の推進

【継続】 ひとり親家庭に対し、自立した生活を送るために、就労支援として職業訓練等の案内や相談に応じるとともに、生活支援として手当の支給や医療費の助成を行った。

【継続】 ひとり親家庭等を対象にファミリー・サポート・センター事業の利用料補助を行った。

### 基本施策6 困難を抱えた若者への自立支援の推進

【継続】 若年者のための就労相談事業や就労支援セミナー事業を開催した。

### 基本施策7 子育て家庭への経済的な支援の充実

【継続】 子育て家庭への経済的な負担の軽減を図るため、各課で情報共有に努め、制度をスムーズに利用できるように努めた。

【継続】 市独自の保育料軽減措置として、国の無償化の対象外となる多子世帯の保育料の軽減措置（半額または無償化の拡大）を実施した。

### 基本施策8 外国につながる子どもと保護者への支援・配慮の充実

【拡充】 子育てアプリ「おりひめ☆すこやかナビ」による外国語での情報発信や、日本語教室「学びの場」を開催した。

【新規】 多言語通訳と音声筆談、手話通訳タブレット「KOTOBAL」を導入し、支援の充実に努めた。

## 基本施策9 男女共同参画・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

【継続】 交野市男女共同参画計画に基づき、「男女共同参画フェスティバル」等を実施した。

【継続】 交野市男女共同参画計画アクションプランの進捗管理を行った。

### ＜今後 強化が必要な取り組み＞

- 子育て世帯に対する経済的支援や負担の軽減。
- 妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援やこどもと子育て家庭の福祉に関する包括的な支援を切れ目なく提供する相談支援体制の充実と、妊娠・出産・育児に関する教室や子育て支援事業等の充実。
- 児童虐待の防止に向けた関係機関の連携の強化と、事例検討会や個別ケース会議の継続開催による児童虐待の発生予防、早期発見の支援。
- 障がいのあるこども等に対する支援について児童発達支援センターが中核的な役割を担い、関係機関と連携。
- 多様なニーズに対応できるよう、全市的な教育・保育の質の向上と関係機関と連携。

### ＜団体アンケート調査結果からの意見＞

- 子育て世代が安心して過ごせる環境を整備し、切れ目ない支援をしていく工夫が必要。
- 産後ケア施設の環境整備が必要。
- 支援が必要な人に情報を発信し、孤立しないよう地域で見守れるような取り組みが必要。
- 安心安全な保育環境の提供のために市独自の配置基準の見直しや人材確保ができるような取り組みが必要。

## 基本目標 2) 子どもの育ちを支える まちづくり

≪主な取り組み状況≫

### 基本施策 1 質の高い幼児期の学校教育・保育の推進

- 【継続】 市内全保育施設の保育教諭等を対象に研修会を実施し、専門的な知識を深め、日々の教育・保育に活かせるよう資質向上を図った。また、市立認定こども園において、第三者評価を受審し、さらなる幼児教育・保育の質の向上を図った。
- 【継続】 認定こども園や幼稚園等と小学校との円滑な接続を図るため、学校園所連絡協議会を開催し、交流を推進した。

### 基本施策 2 学校教育の推進

- 【拡充】 小学校 1 年生の 30 人学級を新たに実施した。また、ICT 機器の新整備・更新や教職員研修を実施し、学力の育成を図った。さらに ICT 支援員を配置した。
- 【継続】 市内全小中学校に学びあいサポーターまたは図書館アドバイザーを配置した。

### 基本施策 3 乳幼児とふれあう機会や子育てを学ぶ機会の充実

- 【継続】 中学生等が乳幼児とのふれあい体験を通し、乳幼児についての知識を深め、自分自身やいのちの大切さを学ぶための取り組みを実施した。

### 基本施策 4 思春期保健対策の充実

- 【拡充】 スクールソーシャルワーカーを各中学校区に 1 人配置するとともに、スクールカウンセラーとの連携を強化した。

### 基本施策 5 「食育」の推進

- 【継続】 離乳食・幼児食の講習会や親子食育講座、市立認定こども園への出前講座等を開催し、食育に関する取り組みを実施した。



## 基本施策6 子どもの成長を見守る体制づくり

- 【新規】 第一中学校区では、地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもたちの成長を支えていく取り組みとして、コミュニティ・スクールの導入を行った。また、地域学校協働活動の充実を図るため、学校と地域をつなげる役割を担う地域学校協働活動推進員を委嘱した。第二・第三・第四中学校区については、令和7年度に導入するコミュニティ・スクールの準備委員会を立ち上げた。
- 【継続】 学習環境の整備や登下校の安全見守り、放課後の居場所づくり等、様々な学校支援の取り組みを実施するとともに、防犯教室や各種訓練等、安全対策を推進した。

## 基本施策7 スポーツ・文化・レクリエーションの充実

- 【継続】 各種スポーツ教室や体育行事を開催し、地域におけるスポーツ活動を推進するとともに、ブックスタートやおはなし会、学校図書館支援など、関連機関と連携してこどもの読書活動を推進した。
- 【新規】 「第4次交野市子ども読書活動推進計画」を策定し、読書環境の整備と読書に親しむ機会の拡充を図った。

### ＜今後 強化が必要な取り組み＞

- 学校における諸課題を未然に防止するため関係機関と連携。
- より多くの家庭で食育に対する取り組みを推進してもらえるよう、交野市健康増進計画と連携。

### ＜団体アンケート調査結果からの意見＞

- 放課後等の居場所に関する周知が必要。
- 不登校や登校しぶりに対する支援ルームを拡大するなどの環境整備が必要。

## 基本目標3) 地域ぐるみの子育て・子育て支援が豊かな まちづくり

≪主な取り組み状況≫

### 基本施策1 地域における子育て支援ネットワークの充実

【継続】 子育て支援者同士が地域でつながりを持つことの大切さ等を共有することを目的として、子育て支援者交流会を定期的で開催し、地域の子育て支援の機運を高める取り組みを行った。

### 基本施策2 子育て相談支援及び子育て情報提供の充実

【継続】 妊婦の課題やニーズに対応するために、妊娠届出時に妊娠・出産マイプランシートを作成し、必要に応じて支援につなげた。

【継続】 子育てアプリ「おりひめ☆すこやかナビ」や子育てマップ等で継続的に情報発信を行った。

### 基本施策3 地域における子育て支援の充実

【拡充】 地域子育て支援拠点において、こどもとその保護者を対象に子育て相談や親子遊びなどの催し、お部屋開放等を行った。また、外出が難しい保護者を対象にオンライン講座を実施した。

【継続】 新型コロナウイルス感染症の影響により校区福祉委員会活動や世代間交流事業、子育てサロン活動が一時減少したが、新しい生活様式を取り入れ継続的に実施した。

【継続】 認定こども園等で、地域に根ざした園として、子育てに関する体験学習や親学習啓発等を関係機関と連携して実施した。

### 基本施策4 地域環境を活かした多様な活動の推進

【継続】 JAや農業団体と連携し、農業が身近に感じられる取り組みを実施するとともに、自然環境分野の講座や事業の実施、交野市子ども会育成連絡協議会が実施するスポーツ・文化事業に対する支援等を通し、地域環境を活かした多様な活動の推進を図った。

### 基本施策5 子どもの居場所づくりの推進

【拡充】 放課後子ども教室（フリースペース事業）については、市内小学校1校で平日毎日開催、2校で週3回、6校で週2回開催するなど、8校でフリースペース実施日数の拡大を行った。

【継続】 食事や学習、体験活動等を行う放課後等の居場所づくり活動を行う団体を支援し、こどもたちが親以外の大人や地域とつながり、心身の健やかな成長を支える場の提供に努めた。

## 基本施策6 安心・安全に子育てできる生活環境の推進

【継続】 こどもを交通事故や犯罪などから守るため、交通安全教室や防犯教室等こども向けの啓発事業を行うとともに「こども110番」の旗や「動くこども110番」のステッカーを配布、青色回転灯パトロール車によるこどもの安全見守りパトロールや、青少年指導員会による市内巡回パトロール等を行った。

### ＜今後 強化が必要な取り組み＞

- 地域の子育て支援等の担い手を確保するとともに、認知度の低い事業の周知、地域の中でこどもたちを育むための取り組みを行う関係機関や団体等との連携。
- こどもが放課後を安全に過ごせるよう、放課後児童会を継続して実施するとともに、放課後子ども教室（フリースペース）の実施日数の拡大に向けた各小学校との連携や安全ボランティアの増員。

### ＜団体アンケート調査結果からの意見＞

- 必要な人に支援や情報が届けられるよう、地域への情報共有や情報発信、連携が必要。
- 支援者の高齢化が進んでおり、担い手の確保が必要。
- こどもたちが安心安全に過ごせる居場所の確保とともに、見守り人員の確保が必要。